

令和2年度 奈良県環境県民フォーラム事業実績

1. フォーラムの運営

- 総会の開催（書面開催：令和2年7月22日～7月31日）
- 10人委員会の開催（4回開催）
- 各分科会の開催
エネルギー（1回開催） エコライフ（開催なし） 資源活用（2回開催）
自然環境（3回開催）

2. 主要事業

① 全体



- 機関紙「環境県民フォーラムだよ！り」の発行（1回）
目的 フォーラムのアピールと会員内の情報共有
仕様 三つ折り6ページ A4版
部数 1,700部（46号）
配布先 フォーラム会員、関係団体、公共機関
- エコな～らライフ宣言（CO2ダイエット事業）（中止）
家庭での省エネ行動を促進するため、その実践宣言をホームページ等で募集、一定の宣言量に応じた植樹により削減したCO2を見える化し、温暖化防止にかかる県民意識の高揚を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施しなかった。
- 環境パトロール出発式・環境の日街頭キャンペーンへの参加（中止）
県民の環境保全意識の高揚を図るため、6月の環境月間において、県・市町村・県警察及び環境関係団体等が一体となって実施する「環境パトロール」及び「環境の日・街頭キャンペーン」に参加する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からそれらが中止となった。

② エネルギー分科会



- 植樹バスツアーの開催（中止）
環境保全について考えてもらう機会づくりとして、エコな～らライフ宣言者を対象

に植樹ツアーを開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となった。

●エコクッキング教室の開催（中止）

環境にやさしいエコライフの提案と促進を目的として、県民を対象としたエコクッキング教室を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

●エネルギー講座の開催（中止）

県民を対象に環境にやさしいエコライフの提案及び情報提供等を実施し、温暖化問題への意識啓発や省エネルギーについて考えるきっかけづくりを図る予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

③エコライフ分科会



●河川浄化への啓発（中止）

河川汚濁の主な原因が生活排水によるものとされているため、生活排水の改善に向けイベント等でアクリルたわしなどを配布することにより啓発を行うとともに、県が進める「きれいに暮らす奈良県スタイル」協議会の「大和川きれい化」推進事業及び「大和川重点対策支川部会」（大和高田・広陵エリア）（大和郡山・斑鳩・安堵エリア）の活動への協力を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

●三代川における採水計画（中止）

大和川重点対策支川の一つである三代川にてCOD、アンモニア、界面活性剤のパックテストを実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

得られたデータは先にまとめた三代川流域における単独浄化槽分布表と照合し、仮に単独浄化槽の密集地域にて河川の汚染が認められた場合には、周辺地域を啓発する根拠データとして使用する予定であった。

●地域が育む川づくり（中止）

県内の河川の水質改善や水質保全の活動を行っている各種団体のエコライフ分科会への参加、協働を図るため、交流会等を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

●環境学習会（中止）

小学生への環境学習の一環として小学校を訪問し、浄化槽の役割を学ぶ学習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

●エコ見学会の実施（中止）

河川の自然浄化への取り組みの現状調査などを実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

③ 資源活用分科会



●環境にやさしい買い物キャンペーンの実施（中止）

3R推進月間である10月にごみゼロとレジ袋削減を目的として、「レジ袋削減キャンペーン」を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

●エコ見学会の実施（中止）

ごみの削減や再使用の推進、リサイクルの現状、最新技術等の現場を見ることで、資源の有効活用についての知識を広めることを目的に、見学会を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

●学習会の開催

海洋プラスチックごみについて、分科会メンバーの理解を深めるとともに、メンバー間での情報共有を図るため、県環境政策課より概要説明を受けた。

日 程 令和3年2月19日（金）

場 所 奈良商工会議所 403会議室（奈良市）

参加者 7名

●奈良市地球温暖化対策地域協議会（NEW）の3Rプロジェクトとの協働（中止）

3Rを推進する団体と連携し、より効果的に広がりを持った活動を展開する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施しなかった。

⑤ 自然環境分科会



●自然環境セミナー

自然環境への理解を深め、得た経験を地域での活動などに役立ててもらうため、自然の素晴らしさを学習するセミナーを開催した。

- ・「菜の花と橘で結ぶ 記紀・万葉の道めぐり」

（奈良追分コミュニティ主催、NPO 法人宙塾共催）

日 程 令和3年3月7日（日）

場 所 霊山寺～追分～県立矢田山自然公園遊びの森

参加者 47名

内 容 霊山寺で菜の花油の奉納を行った後、追分梅林での観梅や菜の花と橘の香りを楽しむウォーキングを実施。矢田遊びの森では地域の歴史のお話や木工体験を実施した。

●自然体験教室

体験による学びを通して、県民の自然環境保全の意識醸成を図るため、分科会各メンバー主催の体験イベントを「自然体験教室」として位置づけて実施した。

- ・「七草摘み、七草粥づくり体験会」（NACS-J 自然観察指導員奈良連絡会主催）

日 程 令和3年1月17日（日）

場 所 同志社大学経済学部 生駒里山きゃんぱす

参加者 47名

内 容 七草摘み体験を通して冬の植物の特徴などを学ぶとともに、七草粥づくりとその試食を通じて、自然からの豊かな恵みを実感してもらった。

●菜の花プロジェクトの推進

- ・自然環境セミナーとして実施した「菜の花と橘で結ぶ 記紀・万葉の道めぐり」の開催を支援
- ・菜の花・橘だよりの編集・発行（1回、フォーラムだよりの中で記事掲載）